

作成日 2010年 7月 30日

改訂日 2025年 2月 3日

安全データシート

1. 【 化学品及び会社情報 】

製品名 **リアル・メンテ**
供給者の会社名称 丸和バイオケミカル株式会社
住所 東京都千代田区神田須田町 2-19-23
担当部門 資材・家庭園芸事業部 環境緑地部
電話番号 / FAX Tel: 03-5296-2326 Fax: 03-5296-2350
使用上の制限 コンクリート改質目的のみ
整理番号 EBR-008

2. 【 危険有害性の要約 】

化学品の GHS 分類(分類 JIS)

健康有害性 急性毒性(経口) 区分 4
皮膚腐食性/刺激性 区分 1C
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 1

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

危険
飲み込むと有害
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
注意書き 【安全対策】 ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱後は手をよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
【応急措置】 飲み込んだ場合: 気分が悪い時は医師/中毒情報センターに連絡すること。
飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師/中毒情報センターに連絡すること。
口をすすぐこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
【保 管】 施錠して保管すること。
【廃 棄】 内容物、容器を関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄すること。
都道府県知事などの許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理すること。

3. 【 組成及び成分情報 】

化学物質・混合物の区別 混合物
化学名又は一般名 珪酸塩類

成分及び含有量	化審法 No.	安衛法 No.	CAS No.
珪酸塩類固形分	22～25%		
（珪酸カリウム）	(1)-459		1312-76-1
（珪酸ナトリウム）	(1)-508		1344-09-8
（珪酸リチウム）	(1)-770		12627-14-4
水等	75～78%		

4. 【 応急措置 】

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 気分が悪い時は医師/中毒情報センターに連絡する。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。必要であれば切断する。 直ちに多量の水で洗い流し、速やかに医師の処置を受ける。 強アルカリ性の製品なので、石鹼を用いず微温湯を流しながら皮膚の刺激や、ぬるぬるする感じがなくなるまで洗い続ける。1時間以上を要することがある。
眼に入った場合	この製品が眼に入った場合、一刻も早く洗浄を始め、入った製品を完全に洗い流す必要がある。洗浄を始めるのが遅れたり、不十分であると不可逆的な眼の傷害を生じるおそれがある。 すぐには痛みがなく視力に影響がなくても障害が遅れて現れることがあるので、必ず医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに医師/中毒情報センターに連絡する。口をすすぐ。 被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。 無理に吐かせない。

5. 【 火災時の措置 】

適切な消火剤	粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水
使ってはならない消火剤	情報なし
特有の消火方法	消火作業は、風上から行う。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。 周囲の設備等に散水して冷却する。 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

6. 【 漏出時の措置 】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。 風上から作業し、風下の人を退避させる。 漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣、マスク等を着用する。
環境に対する注意事項	流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。 漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。 できるだけ回収する。そのあとは多量の水を用いて洗い流す。この場合、pH6～8の範囲で洗い流し、濃厚な液が河川等に排出されないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。 土砂等(の不燃物)で囲って流出を防止し、スコップ又は吸引機などで空容器に回収する。 アルカリ性の製品なので、酸(塩酸または硫酸等)で中和する。

7. 【 取扱い及び保管上の注意 】

取扱い

技術的対策

取扱いは、換気のよい場所で行う。
漏れ、あふれ、飛散しないようにする。
眼、皮膚、衣類に付けない。
容器を転倒、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。

安全取扱注意事項

接触回避

みだりにエアロゾルが発生しないように取扱う。
フッ化水素酸、酸類、アルカリ、両性金属との接触を避ける。

保管

安全な保管条件

密栓した容器に保管する。
直射日光を避け、換気のよい冷暗所に保管する。
食品や飲料から離して保管する。
固化することがあるので、0℃以下で保管しない。
小児の手の届く所には置かない。
製品の容器包装材料にて保管する。

安全な容器包装材料

8. 【 ばく露防止及び保護措置 】

設備対策

取扱いについてはできるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。
取扱場所の近くに、眼の洗浄および身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具

防じんマスク、簡易防じんマスク

手の保護具

保護手袋(不浸透性の材質のもの)

眼、顔面の保護具

保護眼鏡(側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)、保護面

皮膚及び身体の保護具

保護服、保護長靴、保護前掛け

9. 【 物理的及び化学的性質 】

物理状態

液体

色

無色ないしわずかに着色

臭い

無臭

融点/凝固点

凝固点:0℃以下

沸点又は初留点及び沸騰範囲

珪酸カリウム :約 100~120℃

珪酸ナトリウム:100~120℃

珪酸リチウム :約 100℃

可燃性

情報なし

爆発下限界及び爆発上限界

爆発性なし

/可燃限界

引火点

引火性なし

自然発火点

発火性なし

分解温度

情報なし

pH

11.0~12.0

動粘性率

情報なし

溶解度

水:任意に溶解する

その他の溶媒:アルコールに可溶

n-オクタノール/水分配係数

情報なし

(log値)

蒸気圧

情報なし

密度及び/又は相対密度

1.1~1.2

相対ガス密度

珪酸カリウム :情報なし

珪酸ナトリウム:情報なし

珪酸リチウム :0.6

粒子特性

非該当

10. 【安定性及び反応性】

反応性	情報なし
化学的安定性	引火性、可燃性、酸化性、自己反応性、爆発性等なし 加熱・冷却・他の薬剤との混合によりゲル化することがある。
危険有害反応可能性	酸、フッ化水素酸、濃厚な苛性アルカリ、重金属アルカリ土類金属の各塩と反応する。
避けるべき条件	濃厚な酸を加えてはならない。 凍結するとゲル化して元に戻らなくなる。
混触危険物質	フッ化水素酸、酸類、アルカリとの混触 アルミニウム、亜鉛、錫、鉛等の両性金属
危険有害な分解生成物	フッ化珪素ガス

11. 【有害性情報】

急性毒性(経口)	ATEmix=1,833mg/kg のため、区分 4 とした。
急性毒性(経皮)	情報が十分でない(分類できない)
急性毒性(吸入)	情報が十分でない(分類できない)
皮膚腐食性/刺激性	区分 1C の物質を 5%以上含むため、区分 1C とした。
眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性	区分 1 の物質を 3%以上含むため、区分 1 とした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	情報が十分でない(分類できない)
生殖細胞変異原性	情報が十分でない(分類できない)
発がん性	情報が十分でない(分類できない)
生殖毒性	情報が十分でない(分類できない)
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	情報が十分でない(分類できない)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	情報が十分でない(分類できない)
誤えん有害性	情報が十分でない(分類できない)

12. 【環境影響情報】

生態毒性	短期(急性): 情報が十分でない(分類できない) 長期(慢性): 情報が十分でない(分類できない)
残留性/分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

13. 【廃棄上の注意】

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	水で希釈後、酸で中和し沈殿物を濾過分離して、産業廃棄物として処分する。 内容物、容器を関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄すること。 都道府県知事などの許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理すること。
--	---

14. 【輸送上の注意】

国連番号	3266
品名(国連輸送名)	その他の腐食性物質(無機物、液体、アルカリ性のもの) (珪酸塩類)
国連分類	8(腐食性物質)
容器等級	I
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷ぐずれの防止を確実に 行う。 輸送容器は衝撃を与えないように、ていねいに取扱う。転倒したり、激突させたりしない。

国内規制がある場合の規制情報 船舶安全法、航空法の規定に従う。
 応急措置指針番号 154

15. 【 適用法令 】

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

労働安全衛生法	該当なし
化学物質排出把握管理促進法 (化管法)	該当なし
毒物及び劇物取締法	該当なし
消防法	該当なし

16. 【 SDSの作成と改訂に関する情報を含むその他の情報 】

緊急連絡先: 03-5962-9731 (9時~17時 土日祝を除く)

公益財団法人 日本中毒情報センター(事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る)

中毒110番 365日24時間対応

	一般市民専用電話 (情報料無料)	医療機関専用有料電話 (1件2000円)
大阪	072-727-2499	072-726-9923
つくば	029-852-9999	029-851-9999

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、情報料1件につき2,000円を徴収します。

記載内容は十分な配慮に基づき作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。本データシートは情報を提供するものであって、品質や安全性等に関していかなる保証もするものではありません。危険・有害性等の評価は必ずしも万全ではありませんので、取扱いには十分注意を払って下さい。また、注意事項は通常取扱いを対象としております。